

2節 生産と労働②



目標時間
10分

労働の意義と労働者の権利

働きやすい職場を築くため

- (1) 労働者は使用者に対して弱い立場にあるため、()を結成し、労働条件の改善を使用者に要求するようになった。
- (2) 労働時間や休日などの労働条件について最低限の基準を定めている法律。
- (3) 労働者が自主的に労働組合を結成することや、労働組合が争議行為を行うことが保障される法律。
- (4) 労働関係の公正な調整を図り、労働争議を予防し、又は解決するための手続きを定めた法律。
- (5) (2)～(4)をまとめて何と呼ばれるか。
- (6) 仕事と家庭生活や地域生活とを両立できる()を実現することが大切。
- (7) ストレスを訴える労働者が増え、労働者の過労死や過労による自殺などの社会問題のこと。
- (8) 同じ企業で定年まで勤め続ける雇用形態。
- (9) 賃金が年齢とともに上昇していく制度。
- (10) 日本の労働者のおよそ4割が、アルバイト、パート、派遣労働者、契約労働者などの労働者。
- (11) 非正規労働者が正規労働者になれるように専門技能の習得をうながすとともに、失業しても困らないように社会全体で、生活保護や職業訓練などの()を整備していくことが必要。
- (12) 日本では2014年現在、80万人近く()労働者が働いている。

- 労働組合
- 労働基準法
- 労働組合法
- 労働関係調整法
- 労働三法
- ワーク・ライフ・バランス
- 労働災害
- 終身雇用
- 年功序列賃金
- 非正規労働者
- セーフティネット(安全網)
- 外国人労働者

日付	1回目
/	

(間違えた番号)

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
11	12								

日付	2回目
/	

(間違えた番号)

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
11	12								

日付	3回目
/	

(間違えた番号)

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
11	12								

